


入院診療計画書

人工骨頭置換術に対して手術を受けられる方へ 患者様控え

ID:	氏名:	生年月日:	病棟:	病棟部屋:	病名:	(/) ~
日付	入院日~手術前日	手術当日	術後1~2日目	術後3~7日目	術後8日目~	退院
経過	・手術の必要性、内容が理解できる ・入院中の経過が理解できる	・術後安静度を理解できる ・術後疼痛コントロールができる	・疼痛コントロールができる ・離床開始できる ・転倒、転落を起こさない	・疼痛コントロールができる ・離床開始できる ・転倒、転落を起こさない	・疼痛コントロールができる ・離床開始できる ・転倒、転落を起こさない	
目標	・手術の必要性、内容が理解できる ・入院中の経過が理解できる	・術後安静度を理解できる ・術後疼痛コントロールができる	・疼痛コントロールができる ・離床開始できる ・転倒、転落を起こさない	・疼痛コントロールができる ・離床開始できる ・転倒、転落を起こさない	・疼痛コントロールができる ・離床開始できる ・転倒、転落を起こさない	
食事	★ 手術前日の夕食まで食事は できます ★ F手術当日の夜中0時から飲んだり 食べたりできません (飴玉やガムも食べられません) (うがい・歯磨きは可能です)	★ 手術後許可が出たら、水や食事が とれます	★ 食事の制限はありません 			
排泄	★ 排便確認(必要時浣腸・便を出す薬 を飲んで頂きます)	★ 手術後は尿の管が入っ ています	★ 尿の管を抜きます(排尿があつたら 教えてください) ★ 車椅子でトイレまで行けます (車椅子が上手になるまでお手伝い します)			
安静度		★ 術後はベッド上安静とな ります	★ 下肢エコー検査で血栓がなければ 車イス離床開始です。 (血栓が確認された場合は血栓を溶かす 治療が開始されます)			
清潔	★ 手術前日にお風呂に入ります		★ 体を拭きます	★ シャワー浴ができます (一人で入れるまでお手伝い します)		
治療・処置	★ 手術をするための必要な検査 をします ・血液・尿検査 ・肺機能検査・レントゲン ・心電図 ★ 必要に応じて血性予防の為に ウイズエアもしくは弾性ストッキングを 装着します ★ 骨のズレを防止するため牽引を行 う場合があります	★ 手術中出血が多い場合は手術中 もしくは手術後に血液検査を行い輸 血を行います。	★ 血液検査・下肢エコー ・検査結果によっては輸血を ★ 手術した足は脱臼しやすくなっ ています ・足を内股にしないよう注意しまし ょう ・寝るときは股の間に枕を挟む場 合があります	★ 血液検査・レントゲン ★ 血液検査・レントゲン	★ 血液検査・レントゲン ★ 血液検査・レントゲン	
		★ 看護師が手術室 まで案内します ★ 家族の方は、手術が終わるまで 待機して下さい (2階手術待機室) 《手術後》 ☆ 必要時、心電図モニターを付 けて酸素吸入をします ☆ 手術した足に、血を貯める袋が 入ってきます ☆ 血栓予防のため、機械で足の裏 のマッサージをします	★ 傷の状態を見て手術創の保護材 を剥がしていきます (必要時消毒や張り替えを行いま す) ★ 血を貯めていた管を抜きます ★ 心電図モニター・酸素吸入を はずします ★ 足背運動(足首を動かす)を行っ て下さい ★ 車椅子に乗り歩行訓練が始まる まで足の機械は装着します			
	★ 必要に応じて痛み止めを 使用します ★ 服用中のお薬があれば お知らせ下さい	★ 点滴を開始します  ★ 必要時鎮痛薬を 使用します	★ 食事がとれたら点滴を終了しま す ★ 抗菌薬の注射を術後3日程度 します (場合によっては、胃薬の注射を します) ★ 痛みがある時は痛み止めのお薬 を使用します (お薬が必要な時は、お知らせ 下さい)			
説明・指導	★ 入院計画書の説明 《手術前日》 ★ 手術説明 ★ 麻酔説明 ★ 家族の方へ 看護師より入院時・術前・術後の 説明があります	★ 手術に行く前に入れ歯・補 聴器・眼鏡・時計・指輪は外し ていきます(貴重品はご家族へ預 けて下さい) ★ 手術後主治医より 説明があります 	★ 経過説明 (術後の状況や今後について) 	《退院時》 ★ 退院 オリエンテーション ★ 紹介先病院への紹介状があり ます 		

リハビリの途中段階で他の施設へ転院される患者様の転院先の
病院又は施設で同じようにリハビリが進められます

 当院にて術前又は術後翌日より、
生活改善目的にリハビリが開始されます

リハビリ訓練の目安を記してあります。参考にして下さい。

屋外歩行へ

階段昇降ができた

杖歩行へ

平行棒を杖だけで歩けた
 片手だけで平行棒内を歩けた

歩行器歩行

歩行器を使って歩けた

つかまって立てた
 立って骨折していない足を前に出せた

平行棒内起立

転ばないように注意して訓練を進めて下さい

何でもご相談ください

南部徳洲会病院 整形外科 ()

・特別な栄養管理の必要性: 有 無

・その他(看護、リハビリテーション、薬剤等の計画) 看護計画上記参照
術後、リハビリテーションを行います。
理学療法士 平山 佐代子

- 注1) 病名は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わらうものである。
- 注2) 入院期間については、現時点で予測されるものである。
- 注3) あなたは説明を受け、最終的な自己決定をする権利があります。また、他の医師の説明や意見を求める権利(セカンドオピニオン)もあります。上記計画を主治医または看護師より納得いくまで説明を受け内容を承知し同意します。

平成 年 月 日
患者署名: _____ 代理人署名: _____

主治医署名: _____ 担当看護師署名: _____